

平成 25 年 6 月 20 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 信州上田地域「さきがけ」住宅

グループの名称: 信州上田地域「さきがけ」協議会

平成24年度
採択グループ番号: 01-0533-0195

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 代表取締役 有賀健一 代表者印
代表者所属先: 株式会社 有賀技建
代表者構成員番号: VI-8
代表者住所: 長野県上田市殿城1214-1
電話番号: 0268-24-6888

(グループ事務局)

事務局事業者名: 株式会社 アルファープラン
事務局構成員番号: V-10
事務局担当者名: 佐藤 彰彦 印
事務局郵便番号: 386-0004
事務局住所: 長野県上田市殿城1214-1
事務局電話番号: 0268-23-7888
事務局FAX: 0268-24-2444
事務局担当者E-mail: k-aruga@po4.ueda.ne.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	信州上田地域「さきがけ」住宅		
2. グループの名称(必須)	信州上田地域「さきがけ」協議会		
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県内		
4. 結成年月(必須)	平成24年5月22日		
5. グループ代表者名(必須)	有賀 健一		
6. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 有賀技建		
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-8		
8. グループ代表者所在地(必須)	長野県上田市殿城1214-1		
9. グループ代表者電話番号(必須)	0268246888		
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 アルファープラン		
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-10		
12. グループ事務局担当者名(必須)	佐藤 彰彦		
13. グループ事務局郵便番号(必須)	386-0004		
14. グループ事務局所在地(必須)	長野県上田市殿城1214-1		
15. グループ事務局電話番号(必須)	0268237888		
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0268242444		
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	k-aruga@po4.ueda.ne.jp		
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。			
I. 原木供給	2	/	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2		
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4		
IV. プレカット	2		
V. 設計	10		
VI. 施工	9		
VII. 木材を扱わない流通			
VIII. I～VII以外の業種			
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	檜、杉、唐松、赤松、唐松・杉集成材	長野県	信州木材認証製品
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅 12戸	4戸	当グループの昨年実績戸数は11戸あり、実績戸数0の会社が6社となっています。昨年実績の11戸と昨年0戸の会社(6社)で1戸建設を予定し、合せて12戸とする。
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	地域型住宅による地域材使用予定	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅分 144㎡	48㎡	平均30坪を想定し1戸当り12㎡(構造材10㎡100%+二次部材等2㎡20%とする)×12戸=144㎡
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み
	2戸	2戸	竣工済 0戸 竣工予定 2戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 信州上田地域「さきがけ」住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県内
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 信州上田地域「さきがけ」協議会	(結成年月) 平成24年5月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 5 3 3 - 0 1 9 5	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a.【信州上田地域「さきがけ」住宅の取り組み】

○長野県の森林面積は106万haで、県土の約8割を占めています。上田地域に於いては年間降水量は890mm、日照時間2174時間、日寒暖差28度となっており、森林面積は6.5万haで県土の約8割を占め、唐松約30%、赤松約20%、檜約5%、杉約5%とその他広葉樹で構成されています。

この地域性への対応を前提として、下記、取組を行う。

- 寒暖差が大きい為、断熱構造を強化した家の建設。
- 寒冷地でもある為、凍結深度を考慮した家の建設。
- 乾燥、品質、寸法についての厳しい基準をクリアしている信頼性の高い信州木材認証製品を主要構造部に100%使用する。
- 主要構造部以外にも地域材を20%以上使用する。

【24年度の取組における課題】

○ 信州上田地域にふさわしい、住まい手が安心して暮らせる住宅造りを目指している。しかし、消費者に対してこの意図が伝わっていない。グループとして消費者へのPR活動が不足していることが影響している。

【問題解決に向けた平成25年度の取り組み】

- 平成25年度は消費者へのPR活動を強化し、グループとしての広報活動を行うことにより「さきがけ住宅」の市場認知度向上に向けた取り組みを行う。
- 地域型住宅の特徴を記載したパンフレットを作成し、構成員を中心に広報活動を行う。

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール (任意)	乾燥、品質、寸法についての厳しい基準をクリアしている信頼性の高い信州木材認証製品を使用する。	住宅の木拾い表、信州木材認証製品の証明書、流通時の納入伝票を添付する。

イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a.【住宅生産体制の整備と品質維持に向けた取り組み】

○ 地域型住宅の使用を選定し、グループ内での各建材や設備等の性能を一定水準以上とする。

【平成24年度の取り組みにおける課題】

○ 仕様選定を行い各建材の選定を行ったが、建材性能の担保やグレード感の統一が不十分だった為、期待する効果が得られていない。

○ 設備建材の共同購入等の取り組みにおいてコストの低減には一定の効果は得たが、使用する建材の性能の担保や設備工事の均一化、維持管理の容易性における検討が、プランの多様化などで量がまとまらず、期待する効果に至らなかった。

○ 木材については土台、大引に使用した檜材については割れ等が無く充分納得した材料で良かった。

【問題解決に向けた平成25年度の取り組み】

- グループ構成員が昨年以上の戸数を確保し、共同購入が出来るよう努力する
- 標準見積書を作成し、構成員による顧客の確保に努める。

b.

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール(任意)	標準見積書を作成し、施主に提出し説明をする。	重要事項説明完了書の写しを事務局に提出する。

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 信州上田地域「さきがけ」住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県内
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 信州上田地域「さきがけ」協議会	(結成年月) 平成24年5月
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 5 3 3 - 0 1 9 5	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 「さきがけ」住宅の基礎情報をマニュアル化し、完成検査～メンテナンス等の情報の一元管理を協議会が行う。 <input type="checkbox"/> 住宅履歴情報蓄積の義務化 <input type="checkbox"/> グループ共通の維持保全計画書の作成と活用 <input type="checkbox"/> メンテナンスに関する報告書の作成		
【平成24年度の取り組みにおける課題と平成25年度の取り組み】 <input type="checkbox"/> グループとしての住宅履歴情報の管理方針が明確化されていなかった。住宅履歴情報の管理、蓄積情報の統一化の検討を行う。		
b.		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)	さきがけ住宅の基礎情報をマニュアル化し、完成検査～メンテナンス等の情報の一元管理を協議会がする。	住宅管理履歴情報マニュアルの整備
住宅履歴情報の保存方法 (任意)	引渡し30年後迄の維持保全計画書の策定と点検の実施	維持保全計画書の作成
エ. グループの技術力の向上 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 地域型住宅は、長期優良住宅の取得に於いて、未経験の構成員が多数である。その対応として長期優良住宅の使用を理解するために勉強会等の計画をする。 <input type="checkbox"/> 実際の施工現場での施工勉強会の実施 <input type="checkbox"/> 長期優良住宅に関する講習会の実施		
【平成24年度の取り組みにおける課題と平成25年度の取り組み】 長期優良住宅に取り組んだ経験のない構成員が多く、未経験構成員の疑問解消や消費者への提案力が不足していた。この為、グループ全体の知識・技術の向上に関する研修会の場を設ける。 <input type="checkbox"/> 第三者機関による長期優良住宅の講習会の実施 <input type="checkbox"/> 消費者へ具体的な提案が出来るよう標準プランを作成し、仕様や見積内容を共有する。		
b.		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信州上田地域「さきがけ」住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信州上田地域「さきがけ」協議会	(結成年月) 平成24年5月
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 5 3 3 - 0 1 9 5 注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a, 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
a. 信州上田地域「さきがけ」住宅では、以下の点に留意し地域材の選定を行った。 ○ 乾燥、品質、寸法についての厳しい基準をクリアしている信頼性の高い材料を使用する。 【地域材の具体的な使用部位とその使用量】 ○ 主要構造部(柱、梁、桁、土台)は100%信州木材認証製品を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。 【平成24年度の取り組みにおける課題と平成25年度の取り組み】 信州木材認証製品を使用する事としたが、材種の選択が限られてしまい消費者の要望する材料が使用できない場面が発生した。 平成25年度はこの点を考慮し、使用する地域材に対し、以下のルールを追加する。 ○ 使用する地域材として、材のコスト、品質、強度、納期を考慮して合法木材(国内外)の使用を考慮したが取り止めとした。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造部材(柱、梁、桁、土台)は100%信州木材認証製品を使用し、柱は4寸角以上の材を使用する。	住宅の木拾い表、信州木材認証製品の証明書、流通時の納入伝票を添付する。
b.		
c.		
d.		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)		
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。